

様式第7号（第21条関係）

番 号

令和6年5月30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県三養基郡基山町宮浦182-1

団 体 名 基山フューチャーセンターラボ

代表者職・氏名 代表・鷺尾依子

電 話 番 号 090-2714-1826(クボヤマ)

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 基山フューチャーセンターラボ
- 2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年2月20日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

社会的課題への解決のために高校生が様々な探究学習を行っているが、実施に伴う資金が不足していたり、実施に伴う助言を行うことで未来を育む人材を育成していく。特に県東部における高校生を中心とした若い人材が佐賀県内の社会的課題に目を向けることで自分たちの街にさらに関心を深めると考える。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

県内の高校生・大学生グループ3団体に助成することができた。審査におけるプレゼンテーションからスタートし、県内の小中学生を巻き込んだ活動を行うことができた。また、2月には活動報告会を実施し、多くの方にその取り組み内容や実績を報告するに至った。
なお、プレゼンテーションの手法や実績報告を行うにあたり、3名の講師の方に来ていただき、県民対象のゼミも同時に行った。

②佐賀から広がった社会像 (該当する活動のみ)

5 寄附金活用事業実績 : (別記1)

6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)

7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
計				0

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		1,117,833
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	865,315
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	850,000
	前年度控除額(県事務経費)還付分	15,315
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	252,518

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		1,117,833
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	930,000
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	187,833
	返礼品等の調達に係る費用	147,847
	返礼品等の送付に係る費用	39,986
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	0

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)		0
-------------------------------------	--	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1415975414#finances>